

デザイン画からのパターンメイキングに関する研究
——デザインイメージの読み取りの際に起こる問題点の検討——
名古屋市立女短大 ○長谷川陽子 大川由子 稲垣勝彦

原型から出発するパターンメイキングにおいて、非熟練者でもデザイン画からのイメージを生かしたパターンメイキングを可能とするためには、まず服種の分類、ついで各服種についてイメージの読み取れる作図手続が必要となる。演者らは先に¹⁾、一つの服種を例にとり、従来から一般に行われているパターン作図法をもとにしたデザインイメージの読み取り方法、およびパターンメイキングの手続を示すとともに、これを用いて非熟練者のデザインイメージの読み取りに際しての問題点を検討し、デザイン画のデフォルメを現実的な体型に修正した「完成予想図」にあたるものが必要であることが明らかになった。

本報では、次の方法により上記問題についてさらに検討を加えた。

(1) 先の作図手続をパーソナルコンピュータ、XYプロッタを用いて自動化し、デザイン画からのイメージの読み取り情報を入力すればパターンメイキングができる方法を考案した。

(2) 与えられたデザイン画(A)に対応する服種について、標準手続による製品の写真を作製する。これをもとにデザイン画(B)を作製する。

(3) (2)の写真およびデザイン画(B)を参照しながら(1)に示す方法により、デザイン画(A)からのイメージを読み取り、パターン化を行う。

¹⁾長谷川陽子、他：家政誌投稿中